



NTT西日本グループ各社の研修環境を活用した協会訓練について

訓練部

1 はじめに

情報通信エンジニアリング協会は、NTT西日本グループ各社の研修設備を活用した協会訓練について、これまでも「通信線路建設科(架空)」「通信線路建設技術科(RSBM)」等を実施してきたところですが、アクセス保守技術者育成に向けたNTT西日本とのコラボレーション訓練についても平成24年8月よりスタートしました。

NTT西日本グループ各社との研修環境やカリキュラム等の相互活用によるコラボレーション訓練については、保守協業の開始に伴い今後さらに拡大する予定であり、本稿では、今年度の訓練概要、今後の取組み等について紹介します。

2 平成24年度実施訓練について

2-1 アクセス系保守協業訓練について (新規)

NTT西日本グループ各社と通建会社における技術・業務遂行スキルの向上を相互に図っていくため、今年度よりコラボレーション訓練がスタートしました。

NTT西日本においては、アクセス系分野における今後の人員展望等を踏まえ、工事・保守一体的実施による効率化、不安全設備改修のワンストップ化等を目的にアクセス保守協業を段階的に展開していきます。

このアクセス系保守協業に伴う、通建会社側での必要技術者数は約2,300名であり、平成27年度(2015年度)末の完全業務委託に向け計画的な育成を進めていきます。

(1) コース概要<1>

本訓練は「基礎」「応用」「高度」の3つに分類されており、概要は表1のとおりです。

(2) コース概要<2>

訓練場所・講師等については、下記のとおりです。

◆基礎：<場所>ホームテクノ 施設/各ブロック、<講師>地域会社GM、NWAPS資格者

◆応用・高度：<場所>NTT西日本研修センタ(京橋)、<講師>地域会社GM、NWAPS資格者

(3) 訓練コースのカリキュラム

訓練コースのカリキュラムは図1のとおりです。

2-2 通信線路建設技術科(RSBM、OPTOS、AURORA)について

NTT西日本研修センタ(京橋)の光アクセス装置等を活用し、

表1 平成24年度アクセス系保守技術者訓練実施内容

	研修名	日数	研修内容	コース数	育成計画数
高度	アクセスマネジメント実践「上級」(写真1)	7日	設備保全データを活用し、サービス性・生産性の向上の判断を行うための各種マネジメント指標を定量的に評価・分析および復旧手順・修理方法等の指揮ができるスキルの修得	1	11名
	アクセス系光設備サービス回復措置総合実践「上級」	5日	アクセス系光設備の監視および試験を行う機能・構成を理解し、復旧手順・修理方法の指揮・指導スキルの習得・故障事例等による再演防止策の検討が円滑にできるスキル習得	1	8名
	アクセス保全管理実践「中級」	4日	設備保全データを活用したサービス性、生産性の向上を行うための各種マネジメント指標を定量的に評価・分析し、事業に反映できるスキルの修得	2	12名
	アクセス系光設備保守実践「中級」(写真2)	5日	光設備の概要、保守に伴う警報監視、関連オペレーション(AURORA)を理解し、迅速なサービスの提供および故障修理などが円滑にできる技術スキルの習得	2	19名
応用	アクセス系保全集合研修「基礎～中級」(写真3)	2日	各種系光アクセス装置(RSBM・UMC)およびAURORAの実機を使用した故障把握、故障修理の実践演習および各種ケーブル外被故障事例による技術スキルの習得	7	127名
基礎	アクセス系保全基礎研修「基礎」	2日	保全業務における各設備の日常点検、故障修理、災害時の対応および設備管理業務における社外対応の知識を習得	16	276名

1日目		2日目	
8:00 ~9:45	オリエンテーション I. 島田組介・参加事項等 II. ガリットシステム説明 前、スキル総復	8:30 ~9:30	オリエンテーション I. 参加事項等 II. ガリットシステム総復 前日の振り返り
9:45 ~10:45	講学 I I. 共通事項 ・ 保全概要、総復110番、安全	9:30 ~10:40	講学 I II. 保全業務 (2) 設備管理業務 ・ 方式保守、AURORA現地対応
10:55 ~12:00	講学 II II. 保全業務 □ 設備構成、重大事故、予備機設備基準 (1) 設備管理 ・ 予防保全、故障診断 ・ 設備点検、電柱、架空地下、光ファイバー	10:50 ~12:00	講学 II III. 保全業務 (3) 災害時の対応 ・ 遠隔作業対応 (災害対策支援) ・ 災害対応業務 (UMAC) ・ 災害対応事例 (東北、新幹線)
13:00 ~14:10	講学 III II. 保全業務 (1) 日常業務 ・ 緊急修理業務、不具合記録簿、総復 (2) 設備管理業務 ・ ケーブル故障、AURORA概要	13:00 ~14:30	講学 III III. 設備管理業務 (1) 設備管理システム (2) 設備総合業務 (野外対応) ・ 遠隔点検、河川点検、立会、日常点検
14:20 ~15:30	講学 IV II. 保全業務 (2) 設備管理業務 ・ 光アクセス基礎知識	14:40 ~15:30	講学 IV III. 設備管理業務 (3) 設備総合業務 (野外対応) ・ 遠隔、電柱敷地管理、共通 IV. 保全業務 ・ 設備管理概要、OLA、不具合管理
15:40 ~16:50	講学 V II. 保全業務 (2) 設備管理業務 ・ タワーファイバー、第三者知照 ・ 特殊な保守作業、異動伝達、方式保守	15:40 ~16:30	振り返り I. 質疑応答 II. 総復習チェックスキル総復
17:00 ~17:30	昼とめ・質疑応答	16:30 ~17:00	昼とめ・振り返り

日	9:00 ~9:10	第1時間 9:10~10:30	第2時間 10:40~12:00	第3時間 13:00~14:20	第4時間 14:30~15:50	第5時間 16:00~17:30
1日目			開講式 付録1-1			
2日目	HR	認定業務管理・事業計画 設備分析評価 (CS)	設備管理	797719/KR研修 沿革	797719/KR研修 アクセル系設備707	
3日目	HR		設備管理 (3) 災害時の対応 (3) 設備総合業務 (野外対応)	設備管理 (3) 災害時の対応 (3) 設備総合業務 (野外対応)	797719/KR研修 設備管理	797719/KR研修 設備管理
4日目	HR			設備管理 (3) 災害時の対応 (3) 設備総合業務 (野外対応)	797719/KR研修 CS	
5日目	HR	成長測定 9:00~10:40			797719/KR研修 設備管理	
6日目	HR				797719/KR研修 設備管理	
7日目	HR	797719/KR研修 設備管理	797719/KR研修 設備管理	797719/KR研修 設備管理	797719/KR研修 設備管理	797719/KR研修 設備管理

図1 訓練コースのカリキュラム



写真1 アクセスマネジメント実践「上級」
(NTT西日本研修センター)



写真2 アクセス系光設備保守実践「中級」
(NTT西日本研修センター)



写真3 アクセス系保全集合研修「応用」
(NTT西日本研修センター)

- ・ 光アクセス装置 (RSBM) の概要、設計、工事規格
- ・ 光線路保守支援システム (AURORA) の活用技術
- ・ 所外業務支援システム群 (OPTOS) の活用技術 (設計～竣工)

を習得するものです (今年度の受講者は45名)。

なお、研修風景は写真4～6のと

おりです。

2-3 通信線路建設科 (架空、地下) について

NTT西日本研修センター (京橋) のグラウンドを活用し、

- ・ 電柱(単独・共架柱)の新設、撤去、仮柱による更改工法技術
- ・ 架空線路のワイヤ架渉、メタルケーブル架渉、光ファイバケー

ブル架渉 (一東化工法)、支線建設等技術

- ・ 地下設備 (MH・管路) 点検診断、地下ケーブル(メタル・光ファイバケーブル) 敷設等技術を習得するものです (今年度受講者は14名)。

なお、研修風景は写真7・8のとおりです。



写真4 通信線路建設技術科 (RSBM)



写真5 通信線路建設技術科 (OPTOS)



写真6 通信線路建設技術科 (AURORA)



写真7 通信線路建設技術科（電柱）



写真8 通信線路建設技術科（架空）



写真9 通信線路建設技術科（VDSL）

2-4 通信線路建設技術科（VDSL）

NTTホームテクノ研修設備（NTT旭ビル）を活用し、

- ・フレッツ回線の設備構築に伴う小型キャビネットおよびVDSL等所外設備の組立て
- ・装置との接続、設定、切替え等の技術

を習得するものです（今年度受講者

は7名・写真9）。

3 今後の取組みについて

平成24年度より本格的にスタートしたNTT西日本～通建会社間でのアクセス保守協業研修については、平成27年度末の完全業務受委託に向け、NTT西日本より示されている保守技術者育成計画の必達は

もとより、ITEA訓練計画への反映（インストラクターの育成、訓練科班の新設による技術者の拡大等）につなげていくこととします。

また、通信線路建設系の訓練についても、カリキュラムの充実・強化を図り、「事故・トラブル防止」「品質の向上」等、NTT西日本の事業運営に貢献していきます。

（社名等敬称略）